

命の大切さを学ぶ授業の感想（中学生、先生）

講師 被害者支援室員

（2年 女性）

被害者の人がいたら、思いやりを持って接したいと思ったし、自分が被害者になったら、心配をしてくれる人がいるという事を忘れずにしたいです。

講師 交通事故被害者遺族

（2年 男性）

テレビのニュース等で多くの人が亡くなった事故などは、報道され聞くことがあるけど、世の中では多くの事故がいろいろなところでおきているのだと改めて思った。今日まで事故等で被害者の家族の方の事を考えた事がなかったけど、これからは被害にあった方の家族の事を考えながらニュースを見たり、聞こうと思いました。

講師 交通事故被害者遺族

（3年 男性）

講演を聴いて思ったのは、自分が生きている事は、当たり前ではなく、“きせき”なんだということです。いろいろな事故などで、亡くなってしまった人たちの分も自分は懸命に生きていこうと思いました。

講師 被害者支援室員

（3年 女性）

犯罪というものは、本当にひどいと思った。
自分の命、みんなの命、誰にとっても平等でなくてはいけないのに、理不尽な理由で命が奪われてしまうだなんて、辛いと思う。命を奪われたたくさんの方々、その家族が報われない。
これからは、自分の行動に責任を持ち、しっかりと、善悪が判断出来るようになりたい。

講師 殺人事件被害者遺族

(2年 女性)

今まで考えた事のない事ばかりで驚いたり、もっと1つ1つの事に感謝して1分1秒を大切にしていきたいと思いました。

自分の勝手に人をきずつけたり、犯罪をしている人が許せなくて、自分はそういう事はせずに、やりそうな人がいたら止めようと思います。

講師 交通事故被害者遺族

(3年 男性)

悩みすぎて死にたいと思ったことが何回かありました。ですが、今回の講演会を聞いてそういう事を二度と思わないと決心しました。親から授かった「命」、大切にしていきたいです。生きたくても、生きられなかった人たちの分まで、精一杯生きたいです。

講師 交通事故被害者遺族

(1年 男性)

色々とお辛いことがあって、そのつらいことを乗り越えるには、周りの人々の協力も必要で、自分だけの力じゃ乗り越えられないんだと思いました。

講師 被害者支援室員

(1年 女性)

今、自分が普通に生活していることが、こんなに幸せなものなのかと思った。

被害に遭った人の為になることを、少しでもしていきたい。

その為に、今日聞いた話を、1人でも多くの人に伝えたい

講師 交通事故被害者遺族

(3年 女性)

私の母は私が出かける時に必ず見送りをします。「なんで？」ときいたことがあります。すると母は、「これが最後かもしれないんだよ」と答えました。この講演を聞いて、母の言葉を思い出しました。自分の命も、皆の命も大切にしたいと思いました。そして、感謝の気持ちを忘れずに、その気持ちを伝えていけるようになりたいと思いました。

講師 交通事故被害者遺族

(1年 男性)

僕が一番心に残ったのは、「事故でも殺人でも、命の重さは変わらない」ということです。たとえ、交通事故でも、無差別な殺人でも、そこにいた1人の人間の命が失われてしまったことに変わりはないということが分かりました。

講師 交通事故被害者遺族

(1年 男性)

講演を聴いて私は2つ思ったことがあります。1つは、命の大切さと重さです。ひとりひとりの命がどれだけ重くて大切なのかを感じました。2つ目は、罪に決して許されることがないのだということです。一度犯した罪は何があっても消えることはありません、これから一生ついていくものだということを改めて確信しました。この講演を忘れずに、これから自分ができることをしたいと思います。

講師 交通事故被害者遺族

(2年 女性)

自分が、今、こうして普通の生活をして当たり前に生きていられる、当たり前が当たり前でできることが、すごく幸せなことなんだと思いました。それに、命をかけて私を産んでくれたお母さんをとっても尊敬します。

講師 交通事故被害者遺族

(1年 女性)

私たちは、1人ではなく、皆さんに愛されてきたんだと、心に強く残りました。

1つ1つの命は奇跡の命だと思い、苦しくて、もう嫌になっても、大切にしていかなければだめだと思いました。お母さんが必死に命をつなげてくれた物を大切に生きようとしなないといけないと、心から改めて知らされました。

講師 交通事故被害者遺族

(2年 男性)

僕が、今回の講演で特に強く感じたことは、命の大切さや自分のことを思ってくれている家族のことです。そのことを、深く考え直すことができました。

講師 交通事故被害者遺族

(3年 男性)

今生きている今日は、生きたくても生きられなかった人達の今日だと思いました。今まで、なにげなく生きてきた14年と11ヶ月が意味のあるものだったのか、自分に問いかける機会をくださった講師の方には、とても感謝しています。その講師の方のおかげで、今日から「今を大切に生きる」が目標となりました。

講師 殺人事件被害者遺族

(1年 女性)

自分の身近な人達は、かけがいのない存在だと思いました。自分の命も、かけがえない人たちも、私が守りたいと思いました。これからは、生きているという奇跡をありがたいと思い、毎日、楽しく、人生で1日しかない今日という日を過ごしていきたいです。

講師 交通事故被害者遺族

(1年 男性)

無駄な命なんてこの世にはありえない
と思った。この講演を聞くことによって
「命の大切さ」がより分かる。

もし、勉強や運動が出来なくても、生
きることが何よりも大事ということが分
かった。

講師 交通事故被害者遺族

(2年 女性)

講演を聞いて、自分の命の大切さ、被害にあっ
た人達の心境がすごく伝わってきました。今生き
ている事が幸せな事だと改めて思いました。「生
きたくても、生きられない」という言葉が心に残
っています。事件や事故の恐ろしさも、話を通じ
て感じました。私はこれから、命を大切にして、
生きていることに感謝し、生活していきます。

講師 交通事故被害者遺族

(3年 女性)

今まで、命が大切だという事は分かっていたけ
れど、講演を聴いて、本当に大切な人が亡くなる
というのは、本当に悲しくて、いろいろな感情が
こみあげてしまうんだと思いました。今、たくさ
んの人が講師の方のようになっているとしたら、
私達は大人になっても、今も、事故にあったり、
おこしたりしないようにしなければいけないと思
いました。

講師 交通事故被害者遺族

(教師 男性)

事実に基づいたお話は、人の心をしっかりととら
え、聞く者の心を打つ。私達が命を大切にしよう
と、何十時間話をしたとしても、生徒の心への届き
方には、雲泥の差がある。私も、話を聞き、どん
なに命が大切か、子を思う親の気持ちが、どんなに深
いかを改めて知った。より多くの生徒、保護者、地
域の人達に聞いて頂き、命の大切さや、親子関係に
ついて、考える一助にして欲しい。